

~とっても短いお話~

これは ,Everybody ,Somebody ,Anybody ,そして Nobody という 4 人の人の物語 .

やらなきゃいけないとっても大事な仕事がありました . Everybody は Somebody がそれをやるだろうと確信していました .

Anybody ができる仕事だったけど , Nobody がそれをやりました (つまり , 誰もそれをやりませんでした) .
それが Everybody にできる仕事だったので , Somebody はとっても怒りました .

Everybody は Anybody がそれをできたはずだと考えていましたが , Everybody がそれをやらないだろうということを , Nobody は実感していました (つまり , 誰も実感していませんでした) .

結局 , Anybody ができることを Nobody がやったので (つまり , 誰もやらなかったので) , Everybody が Somebody に不平不満をぶつけました .